

竹原 和義 議員

クラウンメロンの販売戦略は

Q 問 行政のバックアップで、トヨタクラウン購入者へ抽選で、「品評会優等メロン」を6名に贈呈する案は。

A 答 話題になりそうな提案である。話題づくりや、マスメディアを活用することは現代において必要なことであると考えている。

洪水対策はどうなっているか

Q 問 長溝管内、原野谷川左岸堤防の崩落原因調査と洪水要因としての「浸透破堤」調査実施について。

A 答 袋井土木事務所で早急に整形補修等の対応をすると聞いている。浸透破堤調査については、今後の経過を観察し、必要に応じて地質調査も実施していくと聞いている。

(通称)七曲がりの道路計画はどうか

Q 問 磐田掛川線(通称)七曲がりの「現道拡幅・バイパス」全ての地権者承諾、同意等は得られているか。

A 答 現道の拡幅、バイパス工事、いずれも地権者全員の同意は十分に得られていない。



整形補修された崩落箇所

廣岡 英一 議員

市政の柱のひとつである「官民協働まちづくり」の推進を

Q 問 平成18年3月の「協働への扉」は指針である。事業計画を策定すべきではな

A 答 事業計画の策定については、今後先進事例を参考にしながら、袋井市らしさを研究していきたい。

Q 問 現在の協働まちづくり事業は、市民活動の域を脱し得ない。市は、積極的に協働モデル事業を実施すべきと思うがどうか。

A 答 モデル事業の実施については、19年度から開設した公募提案型の協働まちづくり事業において展開をしているところである。

「健康文化都市」がよくわかる市政運営のために

Q 問 事務事業を羅列した総合計画からは、

健康文化都市の姿が見えにくい。政策から個別事業に至る施策体系が必要ではないか。

A 答 総合計画では、日本一健康文化都市の理念のもと、まちの将来像やまちづくりの基本目標を定め、市民や地域、企業等が目標を共有化して相互に連携協働し、政策を推進している。

それとともに、政策・施策・事務事業が、目的と手段の連鎖構造で成り立っており、施策体系ごとに目的や基本方針、指標を定め、総合的かつ計画的なまちづくりを進めている。



「体を使って貯筋！健康教室」を受講している皆さん